

クロム活用シート

3年理科

1. 単元名『音のせいしつ』
2. 本時の評価規準 トライアングルなどの楽器の音の出る様子から気づいたことや疑問に思ったことを出し合い、差異点や共通点を基に、音がでるときの物の様子について問題を見出し、表現することができる。【思】
3. 指導計画

	学習活動	ICT 活用場面
導入	○これまで使ったことがある楽器を想起させ、音がでているときはどんな様子か考えさせる。 <どんな問題があるのかな>	
展開	○トライアングルやオクリンクプラスで送った動画を見ながら、音が出ている時の様子で気づいたことや疑問に思ったことを出し合う ○出し合ったカードから共通点や差異点を考え、問題を見出す。 ・<たたく強さで音の大きさが変わるのはなぜか> <音が出るときはものはふるえているのかな>	C1 楽器で音を出す動画を送り、何度も見返せるようにする。 C1 出し合ったカードをテキストマイニングを行い、その結果を基に、共通していることや異なることを見付けて、問題を捉えさせる。
終末	○学習をふりかえる。	

4. 情報活用能力（情報活用能力体系表より）

B	思考・判断・表現		事象やその情報を結び付の視点から捉え、情報及び情報技術を適切かつ、効果的に活用し、問題を発見・解決し自分の考えを形成していく力
		①	必要な情報を収集、整理、分析、表現する力

C1 発表や話し合い・C2 複数の意見や考えを議論して整理

使用するアプリ等 「オクリンクプラス」

	活用の流れ
①	動画を全員に配布する。



	活用の流れ
①	気づいたことや疑問に思ったことをカードに書いて、みんなのボードに送る。
②	送られたカードをワードクラウドでまとめる
③	多かった言葉を書き込んだ人の意見を聞いて問題をつくる。



活用の効果

- ・数に限りがある楽器も何度も見返せたので、全員に考えさせられる時間を確保することができた。
- ・ワードクラウド機能を使うことで、情報を焦点化することができ、話し合いにつなげることができた。